

太陽光発電用ポリシリコン事業の移管について

－新日鉱ホールディングスから日鉱金属へ新日本ソーラーシリコン株式等を譲渡－

新日鉱ホールディングス株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：高萩光紀，以下「新日鉱HD」）は，太陽光発電用ポリシリコン事業（以下「同事業」）を，本年4月1日に新日鉱HDの中核事業会社である日鉱金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：岡田昌徳，以下「日鉱金属」）に承継し，同事業合併会社株式等を日鉱金属に譲渡することといたしました。

新日鉱HDは，昨年6月にチッソ株式会社および東邦チタニウム株式会社とともに，独自の亜鉛還元法（JSS法）による太陽光発電用ポリシリコン事業会社である新日本ソーラーシリコン株式会社を設立し，現在，量産工場の建設を進めておりますが，

- ・同事業が既に技術開発段階から事業化段階に移行していること
- ・同事業は技術およびマーケットの両面において金属事業に関連が深く，日鉱金属グループ事業との各面においてシナジーが期待されること

等から，新日本ソーラーシリコン株式会社の株式等を日鉱金属へ譲渡することとしたものです。

日鉱金属では，今後，出資会社2社とともに量産工場の立ち上げをはじめとする同事業の商業生産に向けた施策を鋭意推進してまいります。

（ご参考）新日本ソーラーシリコン株式会社について

会社概要	<p>①設立： 2008年6月</p> <p>②本店所在地： 東京都千代田区鍛冶町二丁目3番2号</p> <p>③工場所在地： 茨城県神栖市奥野谷字東和田5600番4 （鹿島コンビナート奥野谷浜（おくのやま）工業団地内）</p> <p>④工場敷地面積： 5万平方メートル</p> <p>⑤資本金： 1億円</p> <p>⑥出資比率： チッソ 50%、新日鉱グループ50% （日鉱金属 30%、東邦チタニウム 20%）</p> <p>⑦社長： 大木 和雄（現 新日鉱HD取締役（専務役員））</p> <p>⑧事業目的： 太陽光発電用ポリシリコンの製造販売</p> <p>⑨従業員数： 約110名（年産3,000トン時）</p>
生産計画	<p>第1期： （生産能力）年産400トン、（生産開始時期）2010年度上期</p> <p>第2期： （生産能力）年産3,000トン、（建設）2010年上期以降、増設</p> <p>総投資額： （第1期、第2期合計）約240億円</p>
製造技術の特長	<p>①亜鉛還元法（JSS法）の特長は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電用ポリシリコン市場で主流のシーメンス法と同じ塩化法によるもので、太陽光発電に十分な性能である8N～9N（99.999999～99.9999999%）の高純度ポリシリコンを生産することができる。 ・シーメンス法に比べ、四塩化珪素（SiCl₄）を原料とするため、反応効率がよく、加えて未反応の四塩化珪素の再利用が容易であることから、低コストである。 <p>②本製造技術は、3社がそれぞれ有する固有技術を融合させたものです。</p>